

スクールアイデンティティ＊
宮城野・・・ここでは一人ひとりが輝きます

本校の教育目標
(1) 創造的自由と探究
創造的自由の精神を重んじ、生徒が自ら主体的に課題を発見し、よりよい解決を目指して粘り強く探究する力を身に付けていくことができるよう支援する。
(2) 個性尊重と自立
一人ひとりに内在する個性と可能性を尊重し、生徒が高い目標を掲げて自己実現を図り、幅広い社会性を身につけて自立ができるよう支援する。
(3) 共生と奉仕
多様性を認め合い、生徒が自主的・主体的に地域とグローバルな課題解決に努めて、協働と奉仕の精神を支えとした共生社会の実現と福祉の向上に貢献できるよう支援する。

生徒の実態、教師の願い
・他者に対して思いやりをもって接しており、将来に向けて明確な目標をもって生活している生徒が多い。
・社会の変化に主体的に対応し、人や社会とのかかわりを大切にしながら、夢を志に高め、社会に貢献できる人材になってほしい。

保護者や地域の願い
・将来に向けて粘り強く努力してほしい。
・自分で考えて行動し、自立してほしい。
・よりよい人間関係を築き、周囲への思いやりをもって協力・協働してほしい。

「志教育」の目標
・高い目標をめざして自己実現を図る生徒の育成
・他者と協働し、たくましく思慮深い生徒の育成
・広い視野から目標達成に柔軟に対応する生徒の育成

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
自己の在り方や生き方を将来の進路選択と関連付けながら自律的に探究を行い、他者と協働していく姿勢・態度を育てる。	設定した課題と社会とのかかわりについて考えさせる中で、自己の在り方生き方や将来の進路選択に対するイメージを膨らませ、新たな価値を生み出すことのできる力を高める。	情報活用能力や言語能力などの、学びの基盤となる力を高める活動を行うとともに、「Arts」の視点を取り入れ、想像力や豊かな感性を育み、課題に対する解決策や自身の考えを様々な形で「デザイン」して表現できる力や思考力、表現力を高める。

各教育活動における取組の観点	
各教科	・各教科の魅力を理解させ、学習する意欲を高める。 ・知識基盤社会を積極的に生きるための基礎的・基本的な知識やスキルを身に付けさせる。 ・社会の変化に柔軟に対応できる読解力や表現力、問題解決能力を育てる。
道徳	・大きく進む行動力と協調性を備え、他者を尊重しながら目標を成し遂げる人間 ・深く考える広い視野と高い課題意識を持ち、自由な発想と豊かな創造性で立ち向かう人間 ・鋭く見るグローバル化・情報化の進歩中、物事の本質を見極めながら行動する人間
総合的な探究の時間	・教科横断的な学習を通して、自ら課題を見つけ、学び、考え、問題を解決する「生きる力」を育てる。 ・体験を重ねる中で情報編集能力を高め、広い視野から問題解決に向かう主体的・創造的な態度を育成する。 ・自己の可能性や将来について深く考えさせ、自己実現を果たすために不可欠な自己教育力を育てる。
特別活動	・ホームルーム活動やサークル活動を通して、集団や社会の一員として、他者と良好な関係を作る力を育む。 ・体育的行事実行ボランティアや文化的行事実行ボランティア、その他のボランティアで自律的に活動する力を育む。 ・各種スタッフとして全体の中で自分の活動を設計し、献身的に活動する力を育む。
その他	・学びの場にふさわしいルールやマナーが自律的に醸成されるよう配慮する。 ・施設・設備を整備し、環境美化に努める。

各学年の取組内容	
1年	①サークル活動 ②学問の世界 ③小論文作成 ④探究発表会 ⑤探究中間発表会 ⑥1年次遠足（普通科） ⑦1年次東京研修（美術科） ⑧探究プレゼン演習 ⑨探究の日
2年	①サークル活動 ②学問の世界 ③探究発表会 ④探究中間発表会 ⑤2年次宿泊研修（普通科・総合学科） ⑥日本美術研修（美術科） ⑦探究の日
3年	①進路講演会 ②卒業生に聞く ③探究発表会 ④卒業制作展（美術科・総合学科美術系列） ⑤小学校への高校生教育助手派遣プログラム

家庭との連携
・進路希望調査や三者面談等の機会を通じて、保護者との連携を充実させる。
・PTA行事や懇談会、学校行事への案内を活発に行い、家庭との意思疎通をはかる。

地域・企業との協働
・地域の人材を積極的に活用し、あるいは学習成果を積極的に地域に発信することを通じて、よりよい互恵関係を築く。また、その過程で生徒自身が社会経験を積み、自信を深めることができるよう工夫する。

*本校には校訓がないのでスクールアイデンティティとした